

「千津井クラブ」全国大会でベスト16!



千津井クラブの皆さん

千津井地区の18人で編成する「千津井クラブ」は、去る8月20日から22日まで行われた第2回全日本一般男子ソフトボール大会全国大会において3回戦進出を果たし、群馬県代表として強豪46チーム中ベスト16という好成績を残しました。今回その模様をお知らせします。

第2回全日本一般男子ソフトボール大会が、全国から集まった強豪46チームによって8月20日～22日まで石川県の金沢市で行われました

第1回戦は20日(土)高知県代表の「テックボンバー」と対戦、1回の裏の攻撃、1番園部賢司選手が内野安打で出塁し、2番園部圭司選手の送りバントでランナー2塁へ、その後相手ピッチャーのワイルドピッチの間にランナー3塁へ、3番の田村選手がショートゴロの間、3塁ランナー園部選手が本塁を踏んで1点先取。3回の裏の攻撃では2番園部圭司選手がライト前ヒットで出塁すると、3番田村選手のライトフライをライトが落球しその間に園部選手がホームを踏んでさらに1点を追加して2対0とし、9回の表に相手チームに1点を許すも手堅く2対1で勝ち越し2回戦に駒を進めました。

続く同日の2回戦は奈良県代表の「奈良バンビーズ」と対戦、1回表に相手チームに2点先取されたものの、同回裏には3番打者出塁後、4番橋本選手のホームランが飛び出し、ゲームを振り出しに戻



力投する須藤雄司投手

しました。3回の表には、2点返されるものの同回裏の攻撃で2番3番打者出塁後に4番橋本選手の2打席連続ホームランが飛び出し5対4と逆転。続く攻撃でさらに3点を加え8対4とし、最終回には1点を加え9対4で圧勝。翌21日の3回戦へと順調に駒を進めました。

2日目の3回戦では、長野県代表の「ミノワオールスターズ」と対戦となり、2回には1点先取したのですが4回に2点を返され6回に1点を追加され3対1で惜しくも敗れてしまいました。結果は46チームの中「ベスト16」に残る快進撃となり、選手の間本当にお疲れ様でした。

また、試合会場では厳しい暑さの中、地区を挙げて地元から駆けつけた応援団の皆さんも、用意した横断幕等を掲げて、選手のプレイに熱い声援を送り続け選手と応援者が心を一つにして大会を盛り上げました。

大会後、野本健治監督は、「残念ながら3回戦は、変化球に打線を封じ込められました。今後の選手たちの課題です」と、新たな目標を見つけ冷静に語ってくれた後に、「地元から大勢のかたが応援に駆けつけていただき、大きな声援の中でプレイできたことは、選手たちにとつてとても心強かったと思います。ここまでこれたのも皆さんのおかげです」と感謝していました。



大きな声援を送る地元応援団